自治体名：三重県明和町

自動運転社会実装推進事業

最終報告書（公開版）

**【事業背景・目的】**

明和町において、自動運転技術の活用による効率的かつ充実した公共交通サービス構築を見据えて、社会受容性を高めると共に、自動運転（レベル４）の実装・運行に向けた事業モデルを検討し、社会実装に向けた課題と方策を明らかにして「利便性と持続可能性を両立した公共交通サービスの提供による、暮らしやすいまち」を目指す。

**【事業内容】**

明和町における交通課題の解消を目指し、自動運転技術の導入に向けて、主に以下の調査・検討を実施。（1）運行計画・ルートの検討、車両選択、及びリスクアセスメントの実施（2）社会受容性の検証・ビジネスモデルの検討(アンケート調査・ヒアリング調査)等（3）自動運転の社会実装に向けた体制（地域コミッティ）の充実（4）3D マップ（5）ロードマップ作成

**【検証項目・検証方法】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 検証項目 | 検証方法 |
| 経営面 | ①自動運転車両の利用意向 | 町民アンケート調査にて把握 |
| ②運行事業者の持続可能な参画意向の確認 | 運行事業者へのヒアリングにて把握 |
| 技術面 | ③202年度（令和7年度）の社会実験時におけるインフラ協調実施数 | 今年度の運行はなし |
| ④通信環境の不具合  箇所 | 今年度の運行はなし |
| 社会受容性面 | ⑤自動運転技術への信頼度 | 町民アンケート調査にて把握 |
| ⑥自動運転技術による交通課題の解消効果への期待度 | 町民アンケート調査にて把握 |

**【検証・分析結果】**　（※前章【検証項目・検証方法】と連動した報告内容を記載ください）

■経営面

* + - * 町民アンケート調査において**自動運転車両の利用意向**について調査した。

『あなたが普段ご利用になられている（又は、ご利用する可能性がある）公共交通（路線バス等）に、「自動運転バス」が導入された場合、あなたは乗りたいと思いますか。』という質問に対して、

全体の6割が「やや思う」または「とても思う」と回答する結果になった。

* + - * 事業者ヒアリング調査において**運行事業者の持続可能な参画意向**について確認した。

『本事業に対して積極的かつ継続的に参加する意向があるか』についてヒアリングを実施したが、

「必ず参加したい。継続的な参画意向がある。」という回答を得ている。

■技術面

今年度の運行はなし。

■社会受容性面

* 町民アンケート調査において**自動運転技術への信頼度**について調査した。

『現在の公共交通（路線バス等）に、「自動運転バス」が導入された場合、安全面やサービス面に関して、現在のあなたの印象に最も近いものを教えてください。』という質問に対して、

約4割が「信頼できる」または「やや信頼できる」と回答する結果になった。

* 町民アンケート調査において**自動運転技術による交通課題の解消効果への期待度**について調査した。

『「自動運転技術」や「自動運転バス」が普及することによって、明和町における交通課題（交通事故の減少、環境負荷の軽減、交通不便地域の解消等）は解消すると思いますか。』という質問に対して、

約7割が「とても思う」または「やや思う」と回答する結果になった。